

## 第7章 プランの推進にあたって

### 1 「未来創造」につながる取組の重点化

第4章に掲げる「目指す子どもの姿」に迫るために、多くの施策・取組が必要です。しかし、数多くの施策・取組をしようとすると、一つ一つの施策・取組が充実せず、結果として成果が上がらなくなることがあります。そこで、本プランの推進にあたって、「未来創造」につながる重点施策、重点取組を絞り込みます。

絞り込んだ重点施策、重点取組については、PDCA サイクルの中で、確実な改善を行い、「未来創造への人づくり」の質を高めていきます。

### 2 「市民協働」による多面的評価

第4章に掲げる「目指す教育の姿」に迫るために、園・学校、家庭、地域、行政等が協働して本プランの推進を図っていくことを基本とします。

したがって、本プランの進捗状況については、園・学校、家庭、地域、行政等から多面的に情報を収集して、評価し、改善を図っていきます。また、積極的に情報発信を行うことで、市民全体が子どもの教育を主体的に捉えることができるようにしていきます。

### 3 PDCA サイクルによる改善

第6章に示した重点施策、重点取組について、以下のように計画、実行、評価、改善を行います。

#### (1) Plan（計画）

まず、「目指す子どもの姿」や子どもを取り巻く社会の状況や本市の子どもの現状分析から本市に必要な施策・取組を示します。次に、施策・取組の主体とその内容が明確になるように「誰が何をするのか」を示します。さらに、5年間を見通した計画を立てます。

#### (2) Do（実行）

施策・取組の主体は、(1) で示した計画を実行します。

#### (3) Check（評価）

教育委員会は、園・学校、家庭、地域、行政等から多面的に情報を収集・分析し、その結果を本市の「人づくり」の成果・課題を総合的に検討する委員会「はままつ人づくり未来プラン検討委員会（仮称）」に示します。「はままつ人づくり未来プラン検討委員会（仮称）」は、施策・取組の主体に対し、それに課題がある場合には改善策を提案し、目標を既に達成した場合には今後の方向性を提案します。

#### (4) Action（改善）

施策・取組の主体は、「はままつ人づくり未来プラン検討委員会（仮称）」からの提案を受け、今後の施策や取組について検討を深め、次の「Plan」につなげます。